

# 小学校の統合場所を検討するに当たっての 前提条件と視点・項目別評価表

## I 前提条件と視点

前提条件 花見川地区の小学校の統合

(1) 第一小・第二小の統合

(2) 平成27年4月に統合

### 検討の視点

どの場所が「子どもたちにとって  
より良い教育環境」となるのか。

## II 項目別評価表

| 評価項目   |                         | 案1            |  | 案2            |  |
|--------|-------------------------|---------------|--|---------------|--|
|        |                         | 統合場所:花見川第一小学校 |  | 統合場所:花見川第二小学校 |  |
|        |                         | 評価            | 理由   | 評価            | 理由   |
| 特別支援学級 | 環境変化による精神的な負担           | ○             | 引越しなし  | ×             | 引越し1回(1小→2小)                                       |
|        | 通学の負担(通学距離・時間)          | ○             | 変わらない  | ×             | 通学距離・時間が増える子が多い                                    |
|        | 車による送迎・利便性              | ○             | 学校に入りやすい   | △             | 学校に入りにくい(スクールゾーン)                                  |
| 通学     | 通学距離の負担                 | △             | 2.0km圏内  | △             | 1.7km圏内  |
|        | 登下校の安全                  | △             | 大通りに面している<br>交通量が多い                                | ○             | 団地内を通学できる<br>交通量が少ない                               |
| 安心・安全  | 避難所としての地域に伴う配置バランス      | ○             | 団地及び団地周辺の広範囲で良い                                    | ○             | 地理的には校区のまん中に近い                                     |
|        | 子どもたちの把握<br>引き渡しのしやすさ   | ○             | 大通りに面し、交通便が良い                                      | ○             | 中学校と近く、兄弟がいる場合<br>引き渡ししやすい                         |
| 交流     | 小中連携のしやすさ<br>(中学校までの距離) | △             | 徒歩で行き来できる距離である                                     | ○             | 中学校と隣接している   |
| 校庭     | 小学校設置基準                 | ○             | 6.176㎡(1人当たり22㎡)                                   | ○             | 7,640㎡(1人当たり27㎡)                                   |
| 校舎     | 校舎の形状による子どもたちの把握        | △             | 校長室・職員室から校庭が見にくい<br>一本型で廊下を一気に見通せる                 | ○             | 校長室・職員室から校庭が見える<br>一本型で廊下を一気に見通せる                  |
|        | 必要教室数(14)               | ○             | 保有普通教室数30  | ○             | 保有普通教室数31  |
|        | 工事規模による影響               | ×             | 耐震補強の必要箇所→多<br>老朽改修の必要箇所→多                         | △             | 耐震補強の必要箇所→少<br>老朽改修の必要箇所→多                         |
|        | 工期・引越しの負担<br>(居ながら施工)   | △             | 3年・引越し1回(2小→1小)<br>既存校舎使用:教室移動あり<br>仮校舎使用:校庭制限が大きい | △             | 3年・引越し1回(1小→2小)<br>既存校舎使用:教室移動あり<br>仮校舎使用:校庭制限が大きい |
|        | 子どもルームの設置               | ○             | 空き教室使用/定員40人                                       | ○             | 空き教室使用/定員40人                                       |